



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	地域と研究者を結ぶプラットフォームとしてのリポジトリの可能性：研究成果を地域に還元するためのHUSCAP活用の試み
Author(s)	山村, 高淑
Description	第5回DRFワークショップ「2009年、いま改めてリポジトリ」、主催：DRFデジタルリポジトリ連合、後援：国公立大学図書館協力委員会、日時：平成21年11月11日（水）10:30～17:00、場所：パシフィコ横浜 第11回図書館総合展 フォーラム特設A会場、セッション1「リポジトリがより活用されるために」
Relation	第5回DRFワークショップ「2009年、いま改めてリポジトリ」、平成21年11月11日、神奈川県横浜市。
Issue Date	2009-11-11
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/39834
Type	lecture
File Information	20091111_DRF_presentation_YAMAMURA.pdf, プレゼンテーション資料



地域と研究者を結ぶ プラットフォームとしての リポジトリの可能性

研究成果を地域に還元するための
HUSCAP活用の試み

北海道大学観光学高等研究センター
山村高淑

Contents of the Presentation

1. リポジトリ整備の三つの現在の意義
2. HUSCAP を用いた地域との共同研究成果公開の試み
3. リポジトリ活用の工夫とメリット
4. リポジトリがより活用されるための今後の課題～まとめにかえて

リ ポジトリ整備の三つの現在の意義

(1) 情報バリア (ふたつの壁) の解消

① 地理的な壁 (地域間情報格差)

② 学会という壁

(2) 成果公開速度の向上

① 研究プライオリティーの確保

② 地域社会にとっての意義

(3) 一般市民への利益の還元

1

(1) 情報バリア(ふたつの壁)の解消

①地理的な壁(地域間情報格差)

※ 中央集権から多極分散、地方の時代へ。

- 東京への情報一極集中の弊害
- 情報社会…だれでも・どこからでも情報アクセス可能
- 中央集権から多極分散への移行
- 「自らの情報を誇りを持って発信する地方」へ
→多様な価値観が共存する社会へ
=地方大学の責務

(1) 情報バリア(ふたつの壁)の解消

②学会という壁

※ 社会で起こっている諸問題はもはや
既存の学問体系では対応不可能

- 専門家による情報独占の弊害
- 研究成果を常に社会に還元する努力が必要
→ 本当に求めている人のところへ情報を！
= リポジトリの利用により成果の社会還元・応用の可能性を大きく広げることができる

(2) 成果公開速度の向上

①研究プライオリティーの確保

※ 若手研究者・PDをめぐる雇用環境の悪化→自己営業ツール確保の必要性

- 発見や着想、その仕事が誰によるものであるのかを、まずは広く公開することが重要
- 公開することで、アイデアを守る、という逆転の発想

＝既存組織に頼らない独自の研究公開手段を持つことの重要性

(2) 成果公開速度の向上

②地域社会にとっての意義

※ 地域を「研究題材の狩場」としてしか考えてこなかった大学に対する批判

- 地域を対象とした研究…地域側の協力が必要不可欠
 - 調査の途中経過・結果、研究成果をいち早く地域に公開・還元→適宜修正意見を求める
- = 情報公開と相互フィードバックの重要性

(3) 一般市民への利益の還元

※ 納税者に対する説明責任と利益の還元の必要性

- 研究成果の公開・還元
 - = 納税者に対する知的利益の配当
 - = 大学(特に国公立)の責務
- 公開・アクセスの平等性の面から言っても、リポジトリは極めて適切な方策
 - = 公的整備の充実が必要

H USCAP を用いた地域との 共同研究成果公開の試み

- (1) 三つのプラットフォームの役割分担
- (2) 相互リンクの構築
- (3) 最終成果物としての叢書刊行

2

(1) 三つのプラットフォームの役割分担

- ① 北海道大学機関リポジトリ「HUSCAP」
→「最終成果物」を公開
- ② 鷺宮町商工会との共同研究成果公開
ホームページ「Washipedia」
→「プロセス(途中経過)」を公開
- ③ 独自のWebジャーナル「WoTaCS」
→既存の枠組みに当てはまらない
「論考を発表・公開し議論」する場

アニメ聖地の成立とその展開に関する研究：アニメ作品「ちき☆すた」による埼玉県鷺宮町の旅客誘致に関する一考察： HUSCAP - Windows Internet Explorer

http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/handle/2115/35084

Google HUSCAP 検索

アニメ聖地の成立とその展開に関する研究：アニメ作品...

北海道大学学術成果コレクション
HUSCAP
 Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers
 Copyright(c) 2005 Hokkaido University Library, All Rights Reserved.

北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学 | 附属図書館 | HUSCAP

Language: 日本語 Browse: 全文献

ホーム
 本コレクションについて
 コレクション一覧
 研究科等一覧
 紀要・研究報告集
 学位論文
 開催学会会議録
 開催イベント
 よく読まれる文献
 学内の方へ
 HUSCAPで著作を公開するには
 ログイン
 こちらからも検索できます
 Scirus
 CINI
 JAIRO
 CRUISE

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers >
 国際広報メディア・観光学院・メディア・コミュニケーション研究院 >
 国際広報メディア・観光学ジャーナル = The Journal of International Media, Communication, and Tourism Studies >
 No.7 >

フルテキスト
 p145-164yamamura.pdf 1.75 MB Adobe PDF 見る/開く

タイトル: アニメ聖地の成立とその展開に関する研究：アニメ作品「ちき☆すた」による埼玉県鷺宮町の旅客誘致に関する一考察
 その他のタイトル: Study of Birth and Development of "Sacred Place for Anime Fans" : Discussion of Tourist Promotions Based on Animated Work "Lucky Star" Focused on Washimiya, Saitama Prefecture
 著者: 山村, 高淑
 発行日: 28-Nov-2008
 出版者: 北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 = Graduate School of International Media, Communication, and Tourism Studies, Hokkaido University
 誌名: 国際広報メディア・観光学ジャーナル = The Journal of International Media, Communication, and Tourism Studies
 巻: 7
 開始ページ: 145
 終了ページ: 164
 抄録: This paper is a survey of how the town of Washimiya became the "sacred place" for anime fans ever since fans from all around the country rushed to visit the town after it was used as a setting for the animation "Lucky Star", leading also to the town successfully holding two events for these fans. The following three points were discussed. 1)The process leading up to the town becoming a "sacred place". 2)The process leading up to the town welcoming tourists. 3)The roles of tourist related corporations outside the town. As a result, it was found that in each process the local commerce and industry association played a central role. It was also found that with the town's commerce and industry association at the core, a local shrine, local shops, fans, and corporations from outside the region (copyright owners and a tourist agency) were able to build a relationship of mutual benefit as a backdrop to the current success.

資料タイプ: bulletin
 IIRI: http://hdl.handle.net/2115/35084

ページが表示されました

スタート 20091111レジュメ 20091111山村レジュメ PA291023.JPG - Win... アニメ聖地の成立とそ... Washipedia - ペイント JP A般 11:35 火曜日 2009/11/03

HUSCAP: <http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/index.jsp>

鷺ペディア☆Washipedia - Windows Internet Explorer

http://www.cats.hokudai.ac.jp/~deko/washipedia.html

Google Washipedia

鷺ペディア☆ Washipedia

鷺ペディア ☆ Washipedia



このページは「鷺ペディア」研究チーム
(鷺宮町商工会と北海道大学観光学高等研究センターとの共同研究チーム)
の成果公表ページです。
(共同研究の趣旨については「[ご挨拶](#)」をご覧ください)

■■■■■ 新着★情報 ■■■■■

★2009年10月5日★
岡本健「観光旅行者のホスピタリティ認知計測に関する研究:アニメ聖地巡礼ノートの分析から」をアップしました。
岡本健「アニメを動機とした旅行行動の実態に関する研究:アニメ聖地巡礼研究および調査の整理を通して」([発表スライド](#) & [研究ノート](#))をアップしました。

★2009年9月19日★
岡本健「情報化が旅行者行動に与える影響に関する研究:アニメ聖地巡礼行動の事例分析から」をアップしました。

★2009年8月31日★
2008年4月から2008年9月まで鷺宮町で開催された「飲食店スタンプラリー」について、岡本が日本建築学会で発表しました。発表で使用するスライドがHUSCAPにて公開されました。→[岡本健『来訪者の回遊行動を誘発する要因とその効果に関する研究:埼玉県北葛飾郡鷺宮町における「飲食店スタンプラリー」を事例として』](#)

★2009年8月11日★
平成21年7月18日(土)に鷺宮町役場で開催されました『観光創造フォーラム』での配布資料をアップ致しました。(主催:鷺宮町商工会、幸手市商工会、北海道大学観光学高等研究センター、後援:埼玉県、幸手市、鷺宮町)フォーラムにご参加頂きました皆様、本当に有難うございました!!

★2009年6月26日★
岡本健「情報化社会における旅行者行動の特徴と地域に果たす役割:アニメ聖地鷺宮町の事例から観光資源の協働型管理の可能性を考える」をアップしました。

スタート 20091111レジュメ 20091111山村レジュメ PA291023.JPG - Win... 鷺ペディア☆Washiped... JP A般 11:33 火曜日 2009/11/03

Washipedia: <http://www.cats.hokudai.ac.jp/~deko/washipedia.html>

WoTaCS: Web-Journal of Tourism and Cultural Studies - Windows Internet Explorer

http://www.wotacs.com/

Google WoTaCS

検索

ブックマーク

チェック

翻訳

オートファイル

WoTaCS

ログイン

WoTaCS: Web-Journal of Tourism and Cultural Stu...

WoTaCS

Web-Journal of Tourism and Cultural Studies

文化資源マネジメント研究会ウェブジャーナル

「北海道大学文化資源マネジメント論集」

WoTaCSは北海道大学学術成果コレクション(HUSCAP)に紀要として登録しています。

★本ページから『文化資源マネジメント論集』を閲覧される皆様へ★



「文化資源マネジメント論集」に掲載された全ての論考は [Creative Commons 表示-非営利-継承 2.1 日本 License](#) によって規定されています。
詳しい利用条件に関しては [ライセンス頁](#) を参照してください。

★投稿を希望される皆様へ(「投稿要項」を一読下さい)★

[『文化資源マネジメント論集』投稿要項](#)

◆No.001◆山村高淑「観光情報革命時代のツーリズム(その1)～観光情報革命論(序)～」(2008年12月12日)

◆No.002◆岡本健「観光情報革命時代のツーリズム(その2)～観光情報革命論(破)～」(2008年12月19日)

◆No.003◆山村高淑「観光情報革命時代のツーリズム(その3)～文化の集散地の可能性～」(2008年12月20日)

◆No.004◆石川美澄「マンガ「こちろ葛飾区亀有公園前派出所」に描かれる旅行動向に関する考察(その1)―研究手法確立に向けた予備調査―」(2008年12月30日)

◆No.005◆山村高淑「世界遺産と観光をめぐる近年の諸問題」(2009年1月5日)

◆No.006◆岡本健「観光情報革命時代のツーリズム(その4)～「旅行情報化世代」～」(2009年1月20日)

◆No.007◆佐藤善之「いかにして神社は聖地となったかー公共性と非日常性が生み出す聖地の発展ー」(2009年1月20日)

◆No.008◆櫻井佑美「近代における温泉地に対する価値観の変容に関する一考察ー鉄道および国策との関連からー」(2009年2月17日)

◆No.009◆嘉幡貴至「アニメ聖地巡礼の生起要因についての一考察ー認知心理学的観点からー」(2009年2月19日)

◆No.010◆内田純一「フィルム・インスパイアード・ツーリズムー映画による観光創出から地域イノベーションまでー」(2009年3月2日)

◆No.011◆今井信治「アニメ「聖地巡礼」実践者の行動に見る伝統的巡礼と観光活動の架橋可能性ー埼玉県鷲宮神社奉納絵馬分析を中心にー」(2009年3月3日)※査読付論文

◆No.012◆Yamamura, Takayoshi. La nueva relación entre la cultura popular/la subcultura y el turismo en Japón. <Español> (05 March 2009)

◆No.013◆Okamoto, Takeshi. A Study on Impact of Anime on Tourism in Japan: A Case of "Anime Pilgrimage". <English> (29 May 2009)

インターネット 100%

スタート

20091111レジュメ

20091111山村レジュメ

PA291023.JPG - Win...

WoTaCS: Web-Journ...

Washpedia - ペイント

HUSCAP - ペイント

Ps Adobe Photoshop CS3

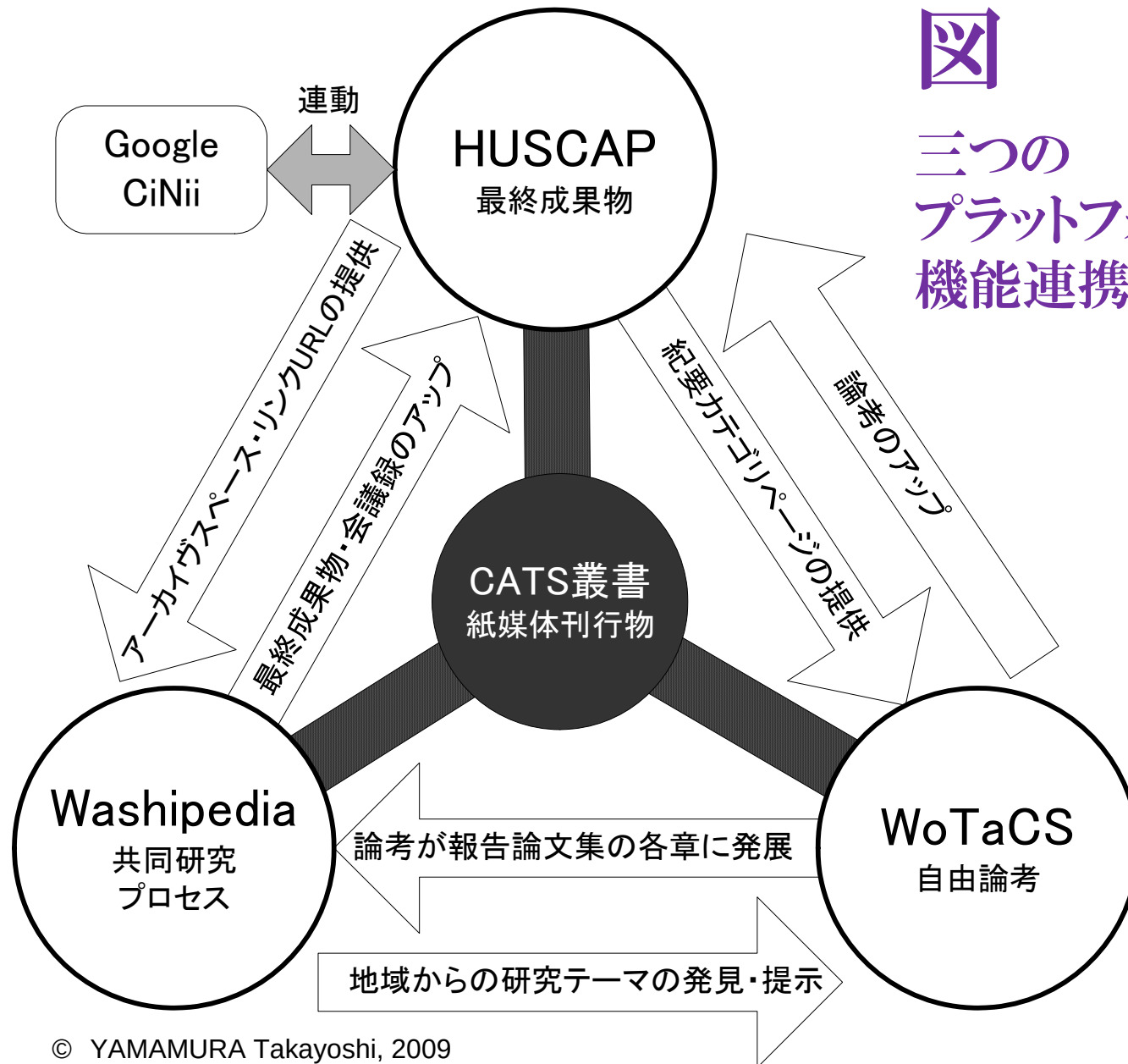
HUSCAP掲載用 - ペ...

JP 一般

11:58 火曜日 2009/11/03

図

三つの
プラットフォームの
機能連携



© YAMAMURA Takayoshi, 2009

(2) 相互リンクの構築

- 「HUSCAP」＝「Washipedia」＝「WoTaCS」
 - 役割分担と相互連動
 - 研究開始から最終成果物の発表まで、できる限りの情報の公開を図る
- その結果、チームメンバーや地域の関係者から、常時フィードバックが得られるように
- 外部からの問い合わせ
 - 当該するプロセスのURLを提示
 - 適切な説明が可能に
(地域の側からその有用性を認めて頂く)

利用統計: HUSCAP - Windows Internet Explorer

http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/es?action=show_date&year=2009

ここからJWord検索

Google HUSCAP

検索

ブックマーク

チェック

翻訳

オートフィル

HUSCAP

利用統計: HUSCAP

北海道大学学術成果コレクション

HUSCAP

Hokkaido University collection of Scholarly and Academic Papers

Copyright(c) 2005 Hokkaido University Library, All Rights Reserved.

北海道大学

HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学 | 附属図書館 | HUSCAP

検索

Language: 日本語

Browse: 全文献

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers >

利用統計

高頻度利用アイテム: [今月] [今年] [去年] [全期間]

統計サマリー: [期間別] [国別] [ドメイン別]

高頻度利用アイテム: 今年

資料名	ダウンロード
アニメ聖地の成立とその展開に関する研究: アニメ作品「らき☆すた」による埼玉県蕨宮町の旅客誘致に関する一考察	5645
2004年度 グラフ理論講義ノート	5317
2007年度 グラフ理論講義ノート	3719
民法入門(平成18年度)	3210
2005年度 情報理論講義ノート	2609
2005年度 グラフ理論講義ノート	2460
解剖学実習指針	2334
メディアコンテンツとツーリズム: 蕨宮町の経験から考える文化創造型交流の可能性 (CATS叢書: 観光学高等研究センター紀要: 第1号) 全1冊	2175
2004年度 情報理論講義ノート	2069
基本顕微構造解析法 I・II	1850
統合・基礎神経学 - 神経系の構造を中心に	1531
終末期における看護師の患者および家族とのコミュニケーションに関する文献検討	1279
2006年度 グラフ理論講義ノート	1248
Amoebae Anticipate Periodic Events	1193
精神科看護における認知症高齢者のBPSDへの対応と課題: 「問題行動」をキーワードとしたケーススタディの文献検討から	1152
アニメコンテンツとツーリズムの新たな関係性について考える ～「らき☆すた」をきっかけとした蕨宮町のまちおこしの経験から～	1104
自衛隊生徒の発足 -1955年の少年兵-	1017
Isolation and characterization of bacteria from soil contaminated with diesel oil and the possible use of these in autochthonous bioaugmentation	1011

ページでエラーが発生しました。

インターネット

100%

HUSCAPにおける2009年度高頻度利用アイテムのランキング (2009年11月6日現在)

高頻度利用アイテム： 今年

資料名	ダウンロード
アニメ聖地の成立とその展開に関する研究：アニメ作品「らき☆すた」による埼玉県警宮町の旅客誘致に関する一考察	5645
2004年度 グラフ理論講義ノート	5317
2007年度 グラフ理論講義ノート	3719
民法入門(平成18年度)	3210
2005年度 情報理論講義ノート	2609
2005年度 グラフ理論講義ノート	2460
解剖学実習指針	2334
メディアコンテンツとツーリズム：警宮町の経験から考える文化創造型交流の可能性 (CATS叢書：観光学高等研究センター紀要：第1号) 全1冊	2175
2004年度 情報理論講義ノート	2069
基本顕微構造解析法ⅠⅡ	1850
統合・基礎神経学 - 神経系の構造を中心に	1531
終末期における看護師の患者および家族とのコミュニケーションに関する文献検討	1279
2006年度 グラフ理論講義ノート	1248
Amoebae Anticipate Periodic Events	1193
精神科看護における認知症高齢者のBPSDへの対応と課題：「問題行動」をキーワードとしたケーススタディの文献検討から	1152
アニメコンテンツとツーリズムの新たな関係性について考える ～「らき☆すた」をきっかけとした警宮町のまちおこしの経験から～	1104
自衛隊生徒の発足 -1955年の少年兵-	1017
Isolation and characterization of bacteria from soil contaminated with diesel oil and the possible use of these in autochthonous bioaugmentation	1011
黄色い仮面のオイディプス：アイヌと日英博覧会	888
メディアコンテンツと次世代ツーリズム：警宮町の経験から考える若者の旅の動向と可能性	810
「健康のための行動変容」における「健康行動理論」の有用性の検討(総説)	756
2009年度 カオス・フラクタル 講義ノート	738
実態としての日本の有給休暇制度：有給休暇未取得率に関する国際会計基準・経営実務からの考察	713
アニメ聖地巡礼行動における旅行者の情報環境に関する研究	701
Effects of static stretching for 30 seconds and dynamic stretching on leg extension power.	701
木製品：その分類基準と北海道における変遷の特徴	697
The Determinants of Alliance Performance : Case Study of Renault & Nissan Alliance	695
WC-Ni超硬合金の溶接残留応力に関する研究	689
An Application of a Narrative Theory to Romeo and Juliet : Orientation and Manipulation of the Audience's Sympathy	684

HUSCAPにおける2009年度高頻度利用アイテムのランキング（2009年11月6日現在）

(3) 最終成果物としての叢書刊行

- 共同研究の最終報告書
 - HUSCAPにアップ
 - 叢書として紙媒体で印刷刊行
 - 図書館の開架閲覧用に登録

CATS 叢書 第1号

メディアコンテンツ とツーリズム

鶯宮町の経験から考える
文化創造型交流の可能性

北海道大学
観光学高等研究センター
文化資源マネジメント研究チーム 編



© 美水かがみ／らっきー☆ばらだいす

北海道大学観光学高等研究センター

CATS叢書第1号表紙

1) ポジトリ活用の工夫とメリット

- (1) 著作の検索率・引用率の向上
- (2) 情報の信頼度とデータ保存の安全性の向上
- (3) 研究プライオリティーの確保

3

(1) 三つのプラットフォームの役割分担

- HUSCAP

- CiNii、Google等の検索エンジンに連動
- 著作の検索率・認知率の飛躍的な向上
- 著作の引用率の向上

- 論文の評価…

- ① インパクトファクター
- ② 引用数＝リポジトリの効用

- 情報化の進展により危惧されること…

信頼できる論文検索サイトで検索して引っかけられなければ、その論文は無いと認識される？

(2) 情報の信頼度と データ保存の安全性の向上

- ・情報化が進み、玉石混交の情報が錯綜
→ 公的機関が当該情報をアーカイブ化し、
永久保存することにより、当該情報の信頼度
とデータ保存の安全性が向上
- ・リポジトリURLをリンク
→ 自らサーバーを構築せずとも、サイト上に
予算をかけず自分の文献リストを構築可能
→ 特に若手研究者にとって利用価値大

(3) 研究プライオリティーの確保

- 研究成果や調査で発見した事項の先取権を確保するためのアピールの場としてリポジトリを活用
- Web上の情報を引用する際のルール of 明示が必要
 - 例: クリエイティブ・コモンズ

リポジトリがより活用されるための 今後の課題～まとめにかえて

- (1) 研究評価のもうひとつの指標としての活用
- (2) リポジトリの新たな仕組み構築に向けて

4

(1) 研究評価のもうひとつの指標 としての活用

※ツールとしてのリポジトリ

- 地域や住民(納税者)のために役立つ、
本当に困っている人々に使ってもらえる、
そんな研究を進めるためのツールとして
- 研究界と一般社会とのギャップを埋めるための、
あるいは研究界の閉塞した環境に風穴をあけるための、革命的なツールとして

(2) リポジトリの 新たな仕組み構築に向けて

■今後の課題

- ・「情報アクセスの利便性の向上」＝公益性
- ・「ロイヤルティの保護」＝市販本等の取り扱い



- ①無償公開すべき公益性の高い論文や報告書
 - ②ロイヤルティ(印税収入)を期待すべき著作
- の二種に分けて考えることが重要
- ・特定の研究者の著作物全てが閲覧できる
ポータルサイトの可能性

ご清聴、
誠に
有難うございました。

山村高淑
YAMAMURA Takayoshi
deko@sd6.so-net.ne.jp
